満開の桜の下で「桜春まつり」

第19回福島「桜春まつり」

第19回福島「桜春まつり」（福島ＹＯＫＡ隊主催）が４月３日と４日、大山公園で開催されました。

このまつりは、大山公園のソメイヨシノや山桜など約800本の桜が満開となるこの時期に、同公園をPRしようと毎年開催されています。

まつりでは、フラダンス、日本舞踊、肥前福島玄蕃太鼓、よさこい踊りのほか、飛び入り参加のカラオケ大会も行われ、集まった市内外の観客からたくさんの拍手が送られていました。

決意新たに

松浦市消防本部開庁式

松浦市と北松江迎、鹿町両町で構成する松浦地区消防組合が３月30日、佐世保市に編入合併する両町の脱退により解散し、翌31日、新たな消防組織となる松浦市消防本部が発足しました。

同本部で行われた開庁式で、友広市長が「職員一丸となって市民の負託に応え、安全で安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組みます」とあいさつ。市長と末永悦二消防長が消防本部の看板を除幕して、発足を祝いました。

戦没者の霊を慰め

市内各地で春の戦没者慰霊祭

春の戦没者慰霊祭が４月４日から市内各地で行われ、戦没者の霊を慰めました。

４日に行われた志佐町戦没者慰霊祭では、慰霊碑前に遺族など約100人が参列し、亡くなった160人の冥福を祈りました。志佐地区戦没者慰霊奉賛会の松口十三雄会長が、「戦没者の尊い命の上に現在の私たちがあることを忘れてはいけません。戦争も核兵器もない真の平和な世界を実現することを誓います」と追悼のことばを述べました。参列者は黙とうなどを行い、戦没者の霊を慰めました。

一体的な観光事業を展開

市内３観光協会が合併

市内の３観光協会の合併調印式が３月31日、市役所市民ホールで開催されました。

松浦市観光協会は平成２年、福島町観光協会は昭和43年、鷹島町観光協会は昭和47年に設立。新市合併後もそれぞれの地域性などから合併を見合わせていましたが、市として一体的な観光事業を展開しようと、昨年の３月から協議を進めてきました。

今後は市観光物産課に事務局を置き、福島と鷹島に支部を設置。今後２年間を移行期間と定め、町独自で行ってきたまつりなどは各支部で行いながら、事業を統合していくこととし、それぞれの代表が固い握手を交わしました。

宮崎ヒサエさんが 100 歳

グループホームかもめで 100 歳祝い

宮崎ヒサエさん（御厨・札場）が４月 11 日、入所中のグループホームかもめ（同町）で 100 歳の誕生日を迎えました。

宮崎さんは明治43年生まれ。若いころは、船大工職人だったご主人の仲間やお弟子さんの世話をしていました。現在は、同施設内で体を動かしたり、施設の人と話しをしたりして過ごしています。この日は、星鹿町に住む娘さんも駆け付け、同施設内で宮崎さんの 100 歳祝いが行われました。時には施設で作られる料理の味見も引き受けるという宮崎さんは、友広市長からお祝いの言葉や花束を受けました。これで市内の 100 歳以上の人は 15 人になりました。

アユさん、大きく育ってね

志佐川の４カ所で稚アユを放流

稚アユの放流が４月９日、志佐川で行われました。

志佐川の水産資源の維持と子どもたちの体験学習のため、毎年この時期に放流しています。

この日放流したのは、大分県日田市から運ばれた体長約 8ｾﾝﾁ ほどの稚アユ約５万尾。市職員などが約２時間かけて志佐川の４カ所で放流を行いました。

上志佐郵便局裏の川では、上志佐保育所の４～５歳の園児 15 人や上志佐小学校３、４年生 19 人の参加もあり、生き物との触れ合いを楽しみながら稚アユを放流しました。６月１日のアユ漁解禁には 18 ～ 20ｾﾝﾁ に成長する見込みです。

スポーツニュース（剣道・なぎなた）

小学生・中学生が剣道で熱戦

第３回松浦市剣道協会会長杯剣道大会 (市剣道協会主催) が４月 11 日、松浦スポーツセンターで開催されました。

大会には、市内から７道場約 70 人の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。上位の結果は次の通りです。

【個人戦】（1 位のみ、（　）は道場名、敬称略)

○小学３年生以下　増山　凜 (興星館)
○小学４・５年生　増山由莉 (興星館)
○小学６年生　田中颯介 (調川)
○中学女子　入口亜寿佳 (興星館)
○中学男子　福田凌太郎 (田代)

【形試合】（1 位のみ、（　）は道場名、敬称略)

○小学生低学年　池田伊織・増山　凜 組 (興星館)
○小学生高学年　田中颯介・田中英聖 組（調川）
○中学生　入口亜寿佳・宮木真由 組 (興星館)

【団体戦】

○小学校の部優勝＝鷹島少年剣道クラブ　**同準優勝**＝興星館
○中学校の部優勝＝田代少年剣道クラブ　**同準優勝**＝興星館Ａ

【総合優勝】興星館　**【2 位】**田代少年剣道クラブ

第 27 回若獅子旗なぎなた錬成会
第 27 回若獅子旗西日本なぎなた大会

第 27 回若獅子旗なぎなた錬成会と第 27 回若獅子旗西日本なぎなた大会（九州なぎなた連盟などの主催）が３月 27 日と 28 日、福岡市で行われました。

同大会には、西日本各地から約 400 人の小学・中学・高校の選手が参加。個人試合・演技競技・団体試合のそれぞれの競技で熱戦が繰り広げられました。

本市から参加したなぎなた教室と松浦高校の生徒８人は、緊張する中、日ごろの練習で学んだものを精一杯出していました。

生徒たちは「これからもっと練習して、来年の大会では少しでも良い成績を残せるよう頑張っていきたいです」と話していました。